

自分を好きになる

発行日 2019年 6月28日

賞状伝達式 校長講話 部活の真価は終わった後現れる

更埴大会を終え、諸君の健闘ぶりは顧問の先生方から報告を受けました。

そこで感じたこと。それは3年生のプライド、3年生の自覚、3年生の本気さです。

スタメンでなかった3年生もいることと思いますが、どの種目もプレーに応援に3年生がリードし、チームが一体となって本気の姿が見られたとのこと。大変うれしく思いました。

惜しくも次のステージに進めない部活もありますが、部活の真価は終わった後の生活に現れると思っています。

大会結果は部活の成果の一つの現れです。しかし、部活を通して身に着けてきた、心技体。特に心は部活が終わった後の学校生活の姿として現れるのです。

これからも3年生は授業に、生徒会にやるべきことがたくさんあります。是非、学校生活のいろいろな場面で全校をリードしていくよう、これからの諸君の学校生活ぶりに期待しています。



勇往邁進

さらなる高みを
めざしてガンバレ！

坂中生!!

北信大会壮行会檄文 信念（念ずれば 花ひらく）

これから球技・水泳の北信大会、陸上の県大会に臨む選手諸君の表情は引き締まった精悍な表情に見えます。更埴大会で涙を飲んだ仲間の思いも胸に秘め、坂中の生徒であるプライドを胸に大会に臨んでほしいと思います。

先日は日笠先生のお話を聞き、「全力で取り組む」ことの大切さを教えていただきました。次の大会に臨むにあたって君たちに贈る言葉。それは「信念」です。今まで君たちは練習を通して心技体を鍛えてきた。中学生の君たちはどれをとってもまだまだ未完成。発展途中でこれからまだまだ、体も成長し、技もどんどん吸収するでしょう。でも明日からの大会までに今から体や技が急に伸びることはあり得ない。体も技も今まで身に着けてきた、今ある力を発揮し、勝負するのみ。

しかし、心は違う。心だけは、心がけ次第でどうにでもなる。一番怖いのは、不安やあきらめ、緊張によって心が乱れれば、今ある技も発揮できずに終わってしまう。

逆に気持ちが充実し、迷いがなく、自信に満ちたプレーができれば、今ある技を存分に発揮することができる。最高のプレーをするか否か、すべては心次第。窮地に陥った時思い出してほしいこと。それが「信念」です。信念はありふれた言葉かもしれないが、信念とは、信じ、念ずる思いです。今まで取り組んできた練習、共に練習してきた仲間、指導してくれた先生の教え、支えてくれた家族、そして今まで鍛えてきた自分自身、すべてを信じて迷いなくプレーしてほしい。

そして、必ず勝つと念じてワンプレー、ワンプレーに臨んでほしい。勝ちたいのはどのチームも同じ。もし力が同じならば最後の勝敗を決めるのは「信念」。心の迷いがなく、自身に満ち溢れたプレーができるのは信念が強い方。是非、仲間を信じ、自分を信じ、必ず勝つと念じて試合に臨んでほしい。

「念ずれば花ひらく」（坂村真民）

念ずれば 花ひらく

苦しいとき 母がいつも口にしていた このことばを

わたしもいつのころからか となえるようになった

そうしてそのたび わたしの花がふしぎと ひとつひとつ ひらいていった

健闘を
祈る。

地区懇談会【7月1日（月）18：00～19：00】のお知らせ

過日別紙でお知らせしたとおり、地区懇談会が開催されます。地区として学校と懇談できる年1回の機会です。是非ご参加ください。

○上履きをご持参ください。生徒昇降口の保護者用下駄箱、生徒用下駄箱をご利用ください。

○駐車場は敷地内に130台ほど駐車できるだけです。満車の場合は、武道館、町第2駐車場、セブンイレブン横の砂利の駐車場にお願いしておきますので、そちらの利用をお願いします。

○全職員が直前の会議に出席しており、駐車場での誘導ができません。駐車スペースを探すのに手間取ってしまうケースも昨年あったようです。ご迷惑をおかけしますが、余裕をもってお越しください。また、できるだけ相乗りか、自転車、徒歩でお出かけください。